

九州・沖縄地区ニュース

No.115 2017.3

第23期の九州・沖縄地区会議の活動を振り返って

日本学術会議 九州・沖縄地区 代表幹事 古谷野 潔

日本学術会議地区会議運営要項には、「地区会議は、日本学術会議の諸活動を地区内の科学者等に周知徹底し、及び日本学術会議に対する意見、要望を汲み上げて日本学術会議と科学者との意思疎通を図るとともに、地域社会の学術の振興に寄与することを目的とする。」と記されています。

九州・沖縄地区会議では、毎年2回、九州の各県において科学者懇談会および学術講演会を開催しています。年度当初に開催を計画するため、従前は2回ともに実施時期が年度後半となっていました。年度の前半と後半に2回ずつ開催するように調整した結果、平成28年度は、平成28年7月に宮崎市、平成29年1月に那覇市において、それぞれ宮崎大学、琉球大学にお世話役をお願いして科学者懇談会および学術講演会を開催することができました。

科学者懇談会では、宮崎市には大西会長、那覇市には日本学術会議事務局河北企画専門官にお越しいただき日本学術会議の活動等についてご報告いただいた後、日本学術会議と地区会議の連携のあり方、日本学術会議への要望、そして地域社会における科学の役割などについて活発な意見交換が行われました。

日本学術会議の活動の多くは、分野別委員会などの専門分野という縦糸で結ばれていますが、異なる専門分野のメンバーが所属する地区会議をうまく活用することで「横串」としての役目を果たすことができるのではないかと思います。そこで、科学者懇談会には、各地域の会員・連携会員の参加を呼びかけてきましたが、宮崎市には会員5名、連携会員1名、那覇市には会員3名、連携会員4名の参加をいただくことができました。これは宮崎県と沖縄県には会員はおられず（地区全体で11名）、連携会員がそれぞれ2名、9名であることを考えると、多くの会員・連携会員の参加が得られたものと考えます。また、お世話役をお願いした宮崎大学、琉球大学のお声がけで、地域の多くの大学を代表する科学者の皆様にもご参加いただきました。「横串」の役割がいくらかでも果たせたのではないかと感じています。

学術講演会の方は、平成28年7月22日（金）に宮崎市において、宮崎大学との共催で「いのちを守る見事な仕組み」をテーマにした学術講演会を開催しました。また、平成29年1月16日（月）には那覇市において、琉球大学との共催で「琉球列島ーその自然の豊かさ」と題した学術講演会を開催しました。いずれも一般市民を含めて多くの参加者があり、大変有意義な会となりました。

平成26年10月よりスタートした第23期の日本学術会議九州・沖縄地区会議の代表幹事を務めさせていただきましたが、早いもので本年9月で23期も終わります。間もなく第24期の会員・連携会員の選考が始まりますが、基本方針の一つに地区分布を考慮することが挙げられています。今後、九州・沖縄地区の会員・連携会員が増え、地区会議の活動がさらに活発になり、「横串」の役割と学術会議の活動の地域への広がりへの貢献を通じて、地区会議が学術会議の活動の幅を広げる一助となることを願っています。

【科学者懇談会の開催】

平成28年7月に宮崎市、平成29年1月に那覇市において科学者懇談会を実施いたしました。

例年2回、その時々々の学術を取り巻く環境が変わる中、日本学術会議の会員と各地域で研究活動を行っている連携会員や研究者との間で、意見交換や情報共有を行う貴重な場として科学者懇談会を開催しております。

平成28年度の科学者懇談会では、宮崎市には大西会長、那覇市には日本学術会議事務局河北企画専門官にお越しいただき日本学術会議の活動等についてご報告いただいた後、日本学術会議への要望やあり方などについて活発な意見交換が行われました。

平成28年度第1回 科学者懇談会

日 時： 平成28年7月22日（金）12：00～13：30

場 所： ニューウェルシティ宮崎（宮崎県宮崎市）

出席者：

日本学術会議	会長	大西 隆
	九州・沖縄地区会議 代表幹事	古谷野 潔
	九州・沖縄地区会議 会員	小松 利光
	九州・沖縄地区会議 会員	前原 喜彦
	九州・沖縄地区会議 会員	青木 玲子
	九州・沖縄地区会議 会員	秋葉 澄伯
	九州・沖縄地区会議 連携会員	位田 晴久
宮崎大学	学長	池ノ上 克
	理事（副学長：研究・企画担当）	水光 正仁
	理事（副学長：教育・学生担当）	兒玉 修
	理事（医学部附属病院長）	鮫島 浩
	理事（事務局長）	増田 宏明
	理事（副学長：女性活躍・人財育成担当）	伊達 紫

	学長特別補佐	村上 昇
	副学長（産学・地域連携担当）	國武 久登
	副学長（機能強化推進担当）	明石 良
	監事	成合 修
	教育学部長	添田 佳伸
	工学教育研究部長	横田 光広
	農学部長	香川 浩彦
宮崎国際大学	教育学部長	福田 亘博
都城工業高等専門学校	校長	桑原 裕史



宮崎市で開催した科学者懇談会の様子

平成28年度第2回 科学者懇談会

日 時： 平成29年1月16日（月）13:00～14:30

場 所： 沖縄県市町村自治会館（沖縄県那覇市）

出席者：

日本学術会議	九州・沖縄地区会議 代表幹事	古谷野 潔
	九州・沖縄地区会議 会員	前原 喜彦
	九州・沖縄地区会議 会員	高原 淳
	九州・沖縄地区会議 連携会員	佐藤 矩行
	九州・沖縄地区会議 連携会員	宜保 清一
	日本学術会議事務局 企画専門官	河北 浩之
琉球大学	学長	大城 肇
	理事・副学長（連携会員）	西田 睦

	法文学部教授（連携会員）	我部 政明
	農学部教授（連携会員）	辻 和希
	理学部教授	伊澤 雅子
	理学部教授	横田 昌嗣
沖縄県立看護大学	学長	嘉手苺 英子
沖縄国際大学	副学長	小柳 正弘
沖縄キリスト教学院大学	学長	友利 廣
沖縄キリスト教短期大学	学長	
沖縄工業高等専門学校	副校長、教授	伊東 昌章



那覇市で開催した科学者懇談会の様子

【学術講演会の開催】

平成２８年７月２２日（金）に宮崎市において、日本学術会議九州・沖縄地区会議主催、宮崎大学の共催で「いのちを守る見事な仕組み」をテーマにした学術講演会を開催しました。

また、平成２９年１月１６日（月）には那覇市において、琉球大学の共催で「琉球列島ーその自然の豊かさ」と題した学術講演会を開催しました。

「いのちを守る見事な仕組み」 宮崎大学

日 時：平成28年7月22日（金）14:00～16:10

場 所：ニューウェルシティ宮崎（宮崎県宮崎市）

平成28年7月22日（金）に宮崎市において、日本学術会議九州・沖縄地区会議主催、宮崎大学共催により「いのちを守る見事な仕組み」をテーマにした学術講演会を開催しました。

日本学術会議大西会長及び宮崎大学池ノ上学長のご挨拶の後、宮崎大学鮫島教授、村上教授の2名の先生を講師に迎え、テーマに沿った講演を行っていただきました。

当日は、大学関係者の他一般市民も含め100名以上の参加があり、盛会裏に終了しました。

【各講演のテーマ】

『胎児は発達期の脳を守るために何をしているか』

宮崎大学医学部 教授 鮫島 浩

『体の恒常性を維持する本能的機能とその調節物質』

宮崎大学農学部 教授 村上 昇



宮崎市で開催した学術講演会の様子

講演会の感想（アンケート調査から抜粋）

50代男性

今回のように一般の市民の方にも興味をもってもらえる内容を続けてほしい。

20 代女性

これから妊娠する年代として、すごく興味深い話だった。医学、獣医学の目線から両方の話が聞けてとても貴重だった。

60 代男性

原種的研究と地域医療の改善、人材育成とが見事に繋がる点が、他分野の私にも感銘深いものだった。

「琉球列島ーその自然の豊かさ」 琉球大学

日 時：平成29年1月16日（月）15：00～17：00

場 所：沖縄県市町村自治会館（沖縄県那覇市）

平成29年1月16日（月）に那覇市において、日本学術会議九州・沖縄地区会議主催、琉球大学共催により「琉球列島ーその自然の豊かさ」をテーマにした学術講演会を開催しました。

琉球大学大城学長のご挨拶の後、琉球大学成瀬准教授、及び琉球大学横田教授の2名の先生を講師に迎え、それぞれテーマに沿った講演を行っていただきました。

またその後、琉球大学農学部辻教授（連携会員）にコーディネーター、成瀬准教授、横田教授、沖縄科学技術大学院大学佐藤教授及び琉球大学伊澤教授の4名にパネリストとして参加いただきパネルディスカッションを行い「琉球列島ーその自然の豊かさ」について討論が行われました。

当日は、大学関係者の他一般市民も含め、約40名の参加があり、盛会裏に終了しました。

【各講演のテーマ】

『琉球列島の甲殻類を中心とした海洋生物の研究について』

琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 成瀬 貫

『世界自然遺産候補地の琉球列島の植物：その由来と現状について』

琉球大学理学部 教授 横田 昌嗣

【パネルディスカッション】

議題： 琉球列島ーその自然の豊かさ

コーディネーター

琉球大学農学部 教授 辻 和希 ※日本学術会議連携会員

パネリスト

沖縄科学技術大学院大学 教授 佐藤 矩行 ※日本学術会議連携会員

琉球大学理学部 教授 伊澤 雅子

琉球大学理学部 教授 横田 昌嗣

琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 成瀬 貫



那覇市で開催した学術講演会の様子

講演会の感想(アンケート調査から抜粋)

70 代以上男性

沖縄県での講演会であったので「琉球列島の自然の豊かさ」というテーマで非常によかったと思う。一方で九州・沖縄地区の会議とのことでもあるので、沖縄以外の九州関連の話もあってもよかったかなと思う。二つとも楽しい講演でした。

60 代男性

沖縄地域の自然、環境問題の現状に対する提言、指摘等について単刀直入に言及する場面も期待していたので、少し物足りない点も感じた。

【お知らせ】

日本学術会九州・沖縄地区会議では、平成29年度、以下のとおり学術講演会の開催を予定しております。詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

日時： 平成29年度 上半期

場所： 佐賀市内（未定）

日時： 平成29年度 下半期

場所： 長崎市内（未定）

日本学術会議 九州・沖縄地区会議

会員一覧

秋葉 澄伯（第二部所属 鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科疫学・予防医学分野 教授）

巖佐 庸（第二部所属 九州大学 大学院理学研究院 教授）

尾家 祐二（第三部所属 九州工業大学 学長）

小松 利光（第三部所属 九州大学 名誉教授）

古谷野 潔（第二部所属 九州大学 大学院歯学研究院 教授）

高原 淳（第三部所属 九州大学 先端物質化学研究所 所長・主幹教授）

土井 政和（第一部所属 九州大学 大学院法学研究院 教授）

前原 喜彦（第二部所属 九州大学 大学院医学研究院消化器・総合外科 教授）

宮崎 康二（第二部所属 医療法人聖粒会慈恵病院 顧問）

安浦 寛人（第三部所属 九州大学 理事・副学長）

山下 俊一（第二部所属 長崎大学 理事・副学長） ※五十音順

発行 2017年3月

編集 日本学術会議 九州・沖縄地区会議

日本学術会議 九州・沖縄地区会議事務局

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学研究推進部学術研究推進課内

電話 092-802-2321（ダイヤルイン）

FAX 092-802-2391

E-mail kissomu@jimu.kyushu-u.ac.jp